

## 研究報告

# 侵入害虫チャトゲコナジラミの静岡県における発生経過とチャ園における発生消長

静岡県農林技術研究所茶業研究センター 小澤 朗人・内山 徹

## はじめに

中国から侵入したと考えられる侵入新害虫のチャトゲコナジラミ *Aleurocanthus camelliae* Kanmiya and Kasai (山下・林田, 2006; KANMIYA et al., 2011) は, 2004年に京都府の茶園で初めて発見され, その後, 全国の茶産地に分布を拡大し(佐藤, 2013), 2016年12月時点では34都府県で発生が確認されている(各都府県発表の特殊報に基づく)。静岡県では, 近畿地方を中心に本種の分布が拡大したこと(佐藤, 2013)を受け, 県内への侵入を阻止するため他県からの苗の導入禁止などの事前策を記載したチラシ配布などの侵入警戒対策をとってきた。しかし, 2010年秋には県内への侵入を許し, 現在では県内のほぼ全域の茶園にまん延するに至っている。

ところで, 農作物における侵入害虫の発生件数は切り花や野菜, 果実の輸入増加に伴って1980年代以降に急増しており(桐谷, 2002), 静岡県でもミナミキイロアザミウマ(池田, 1981; 工藤, 1981), タバココナジラミなどのコナジラミ類(松井, 1995), マメハモグリバエ(西東, 1992)などの侵入害虫がしばしば問題となってきた。しかし, これら侵入害虫の県内での発生経過については, 主な発生地域や被害作物等断片的な情報が報告されているのみで, 初確認の正確な場所や時期, 推定される侵入源, 初発以降の具体的な分布の拡大状況等詳細な記録はほとんどない。新たな侵入害虫の発生が今後も予想される状況において, 侵入害虫の発見から分布拡大にいたる経緯の詳細な記録は, 今後, 新たな害虫が発生した場合の対策に有益な情報になりうる。そこで, 本稿では, 静岡県におけるチャトゲコナジラミの初確認からその後の分布拡大状況, および侵入源の推定結果とともに, 侵入時期がそれぞれ異なる地区における発生消長パターンについて紹介する。

本文に先立ち, 調査にご協力いただくとともに貴重なご助言をいただいた農研機構・野菜茶業研究所(現・果樹茶業研究部門)の佐藤安志氏, 上杉龍士氏, 静岡県病害虫防除所の小杉由紀夫氏, 芳賀一氏, 現地調査および情報提供にご協力いただいた各農林事務所およびJAの諸兄に深謝する。

## I 静岡県内における発生確認と侵入源の推定

2010年10月~2012年5月にかけて県内農林事務所などの指導機関から本種の発生が疑われる情報提供を受け, 現地に出向いて当該圃場とその周辺における発生状況を調査した。現地調査では, 本種のチャ樹での寄生の有無や発生程度, 圃場周辺の植物における寄生の有無等を観察により調べた。

静岡県内における初確認地は菊川市倉沢の現地チャ園であった(2010年10月12日)。確認時点で既に一部ではすす病が多発した状態であった。2010年は菊川市での初確認以降, 島田市, 菊川市, 磐田市等でも相次いで確認した(表-1, 図-1)。表-1に, 2010年10月の初確認から2012年5月の川根本町での発生確認までの地区名と時期, および確認時点での発生程度をまとめた。確認圃場での発生程度はその多くがすす病を併発した甚発生となっていた。図-1に示すように, 発生地区は県内の東部から西部まで広範囲で, 特定の地域に偏在していなかった。2010年は菊川市倉沢など5地区, 翌2011年は静岡市中吉田や三島市塚原新田, 浜松市大山町等の計14地区, 2012年は5月までに新たに3地区で確認した。その後は初発地区を中心に面的な広がりを見せたため, 今回の集計には含めなかった。

次に, 初発圃場を特定できた各地区で現地調査を実施し, 侵入源について推定された結果を表-2にまとめた。菊川市倉沢と菊川市牛渕では, 発生確認の3年前の2007年に既発地である三重県からチャ苗を導入していたことが判明し, これらの苗が侵入源と推定された。一方, 静岡市中吉田地区は発生圃場が住宅地の中にあり, 幼木園はなかった。しかし, 近隣に造園業者が管理している緑花木の栽培園があり, ツバキ科を含めた幼木が多数植栽されていた。藤枝市瀬田は, 新興住宅街にある隔離さ

The Occurrence and Rapid Spread of Infestation of the Exotic Pest, Tea Spiny Whitefly *Aleurocanthus camelliae* Kanmiya & Kasai in Tea Fields in Shizuoka Prefecture, Japan. By Akihito OZAWA and Toru UCHIYAMA

(キーワード: 侵入害虫, チャ, チャトゲコナジラミ, 発生消長, 分布の拡大)